

自己評価					学校関係者評価	
学校運営計画 (4月)					評価 (総合)	
学校運営方針			本年度重点目標		具体的目標	
昨年度の成果と課題			具体的な目標		具体的な方策	
<p>校訓「耕 土を耕し、心を耕し、未来を耕す」に基づいた学校経営を行う。土を耕すとは知 (学力、学習意欲)、心を耕すとは徳 (人格、道徳心)、未来を耕すとは夢 (自己実現) のことであり、本校の教育理念とする。</p>						
<p>【令和4年度の成果】</p> <p>1 教育活動に制限はあったものの、ICT活用などの工夫により、概ね計画の通り実施することができた。また、新しい学習指導要領に対応した指導と評価の一体化や観点別評価の考え方などについて、職員間で情報共有することができた。</p> <p>2 希望進路実現のため、各学年の到達状況を踏まえたキャリア教育を実施することができた。また、学年および各部が連携し、3年生全員の進路を決定することができた。</p> <p>3 ホームページの充実に加えて、インスタグラムを利用した広報活動を開始した。校内における日々の授業風景を素早く発信することで、効果的な広報ツールとなった。</p> <p>【令和4年度の課題】</p> <p>1 ICTの活用も含め、教科・科目を越えた授業研究を通して、個々の指導スキルを磨き、授業改善を図る。</p> <p>2 社会の変化と時代のニーズにあった教育活動を実践する。積極的な生徒指導を通して、自主性、積極性を育み、チャレンジ精神と主体性を持った生徒を育成する。</p> <p>3 農業クラブ、家庭クラブをはじめとした専門性を生かせる教育活動を充実させることで生徒の専門性、自尊心を高め、主体的に進路決定ができる力を育成する。</p>			<p>校訓「耕 土を耕し、心を耕し、未来を耕す」に基づいた学校経営を行う。土を耕すとは知 (学力、学習意欲)、心を耕すとは徳 (人格、道徳心)、未来を耕すとは夢 (自己実現) のことであり、本校の教育理念とする。</p>		<p>全ての教科・科目でICTを積極的に取り入れ、授業改善に取り組むとともに教科間の連携を図り、主体的に学ぶ意欲を喚起する。研究授業をはじめ、OJTを通して指導力の向上を図る。</p> <p>3年間のキャリア教育計画を全職員で共有する。生徒個々のキャリアパスポートを基に、多様な進路希望に対応した指導を組織的かつ体系的に行う。</p> <p>ホームページとインスタグラムによる情報発信を定期的に行うことで、中学生、保護者、地域の理解を深める。映像配信や情報誌等による学校PRを随時行うとともに年間3回の中学校訪問を行う。体験入学の内容の見直しを行う。</p> <p>農業に関する3つの学科と本校専攻科との連携を推進し、プロジェクト学習等の充実を図る。生活デザイン科 (家庭科) における学習活動の成果を積極的に発信する。</p> <p>各学科の特性を活かした産学官連携を維持・推進する。学科間の情報共有や連携機能を高めるための組織を設置する。</p> <p>いじめの早期発見、未然防止や生徒の人権感覚の向上を図るため、人権教育並びに道徳教育の充実を図る。また、特別支援教育や人権教育について、外部講師の招聘も含めた職員研修を実施し、指導力向上を図る。支援が必要な生徒の情報共有し、定期的なケース会議を通して組織的対応を行う。</p>	
					<p>評価 (3月)</p>	
					<p>次年度の主な課題</p>	
					<p>項目ごとの評価</p>	
					<p>学校関係者評価委員会からの意見</p>	
教務部	教務	<p>新学習指導要領及び新教育課程を円滑に実施するとともに、一人一台端末の利用を推進する。</p>	<p>新たな観点別評価に関する協議の場を企画・運営し円滑な運用を進める。また、一人一台端末の活用について、研修・情報部と連携し推進する。</p>			
		<p>中学校等との連携及び目的意識を持った生徒募集を推進する。</p>	<p>大規模改修工事において、生徒の学習活動を遅滞させることなく円滑に進める。</p> <p>中学校訪問を年3回、中学校教員向け学校説明会を年1回実施し、より効果的な生徒募集に繋がるようその内容を検討・実施する。</p> <p>中学生体験入学の実施方法を見直し、本校の学習内容や特色ある取組を理解してもらい生徒募集に繋げる (年2回実施)。</p>			
教務部	研修・図書	<p>大型提示装置やタブレット等のICT機器を活用した授業を推進する。</p>	<p>教員の教育用タブレット1台支給に伴い、授業での活用に向けた職員研修を実施する。</p>			
		<p>学校ホームページを活用した情報発信を充実させる。</p>	<p>研究授業週間において、「ICT機器の活用と授業展開」をテーマにした研究授業を実施する。</p> <p>中学生やその保護者が興味を持つ情報を積極的に発信し学校をPRする。</p> <p>学校全体・各学科において、月1回以上ホームページの更新を行う。</p>			
生徒育成部	生徒指導	<p>基本的な生活習慣の定着といじめや差別を許さず広く深い自尊心を持つ集団を育成する。</p>	<p>基本的な生活習慣定着のために、チェック指導を含めた服装髪型点検を月1回行い意識付けを図る。</p>			
		<p>生徒が主体的に学校行事や部活動、課外活動を運営し、挑戦し続ける人材を育成する。</p>	<p>立ち止まらざるの挨拶を奨励し、お互いを認めさせながら人権意識高揚を図る。</p> <p>生徒会活動の活性化と、校則改定へ向けて生徒が参画できる環境を提供し生徒相互の意識高揚を図る。</p> <p>部活動の加入率向上や地域活動への参画推進など、放課後を活用した自己実現への指導を充実させる。</p>			
生徒育成部	保健・環境	<p>自らの心身の健康に関心を持ち、自己管理できる能力の育成を図る。</p>	<p>スクールカウンセラー事業を充実させ、早期に生徒支援できる体制を整える。また、エンカウンターを実施しヘルスプロモーションの啓発に努める。</p>			
		<p>清掃活動を通じて人間力の向上を図る。</p>	<p>生徒保健委員会活動の活性化を図る。</p> <p>美化コンクールやワックスがけを定期的に行い、全職員、全生徒が協力して学校の美化に努める。</p> <p>環境美化委員会活動の活性化と充実を図る。</p>			
キャリア教育部	進路指導	<p>3年生の進路決定率100%を実現する。</p>	<p>企業訪問においては各学科の特色を活かすための新規企業を開拓し、生徒一人ひとりの進路実現を目指す。</p>			
		<p>各学年と連携し、学年に応じた進路指導の充実を図る。</p>	<p>専門高校の推薦枠や指定校推薦を活用し、学科の特色を活かした国公立大学を含む四年制大学及び短期大学への進学者を20名以上目指す。</p> <p>生徒一人ひとりの進路実現に向けて、進路指導部と各学年の連携強化を図る。</p> <p>校内外の計画的な進路ガイダンスの実施と徹底した生徒面談を行い、進路意識を高める。</p>			
キャリア教育部	人権・同和教育推進	<p>人権同和教育HRを中心に、生徒の人権意識を高めることに全職員で取り組む。</p>	<p>人権同和教育HRの内容を充実させ、生徒の人権意識の向上を目指す。</p>			
		<p>各学年や分掌との情報交換や情報共有を密に行なう。</p>	<p>事前の指導案の検討や学習会の開催、事後の生徒の状況把握に努める。</p> <p>生徒支援委員会において、生徒情報の共有を図る。</p> <p>外部の研修会の案内および情報提供を強める。</p>			
キャリア教育部	職業教育	<p>・キャリア教育の推進に地域社会・産業に貢献できる人材の育成。</p> <p>・ワンヘルズ教育を教科内に取り入れる。</p>	<p>地域交流、食農教育、HACCP教育、GAP教育を各科で行い学校全体の取組とする。</p>			
		<p>生徒の主体的な活躍の場を設定 (栽培指導・インターンシップの実施など) する。</p>	<p>ワンヘルズの理念を授業内に取り入れワンヘルズ教育の充実を図る。</p> <p>プロジェクト推進委員、農く担当者、家く担当者、各科指導教員の連携を図り、上位大会出場を見据えた指導を行う。</p> <p>各種の農業クラブ競技会に向けた学習会を実施し、参加生徒の知識、技術の向上を図る。</p>			
企画広報部	企画広報	<p>行事の運営における分署間の連絡・調整を行う。PTA活動のスムーズな運営を行う。</p>	<p>各部と連携を取りながら、各行事の計画を早期に立案し実施する。</p>			
		<p>保護者・同窓会、関係中学校との信頼関係を構築する。</p>	<p>事前に本部役員会を開き、PTA理事会・委員会の内容を精査、確認する。</p> <p>行事の案内文書や広報誌を通して、保護者、関係中学校に情報提供を行う。</p> <p>中学生一日体験や中学校PTA視察等の内容の充実を図る。</p>			

自己評価										学校関係者評価													
学校運営計画(4月)								評価(総合)		評価(総合)	学校関係者評価												
学校運営方針				校訓「耕 土を耕し、心を耕し、未来を耕す」に基づいた学校経営を行う。土を耕すとは知(学力、学習意欲)、心を耕すとは徳(人格、道徳心)、未来を耕すとは夢(自己実現)のことであり、本校の教育理念とする。								自己評価は											
昨年度の成果と課題				本年度重点目標		具体的目標				A : 適切である	B : 概ね適切である												
<p>【令和4年度の成果】</p> <p>1 教育活動に制限はあったものの、ICT活用などの工夫により、概ね計画の通り実施することができた。また、新しい学習指導要領に対応した指導と評価の一体化や観点別評価の考え方などについて、職員間で情報共有することができた。</p> <p>2 希望進路実現のため、各学年の到達状況を踏まえたキャリア教育を実施することができた。また、学年および各部が連携し、3年生全員の進路を決定することができた。</p> <p>3 ホームページの充実に加えて、Instagramを利用した広報活動を開始した。校内における日々の授業風景を素早く発信することで、効果的な広報ツールとなった。</p> <p>【令和4年度の課題】</p> <p>1 ICTの活用も含め、教科・科目を越えた授業研究を通して、個々の指導スキルを磨き、授業改善を図る。</p> <p>2 社会の変化と時代のニーズにあった教育活動を実践する。積極的な生徒指導を通して、自主性、積極性を育み、チャレンジ精神と主体性を持った生徒を育成する。</p> <p>3 農業クラブ、家庭クラブをはじめとした専門性を生かせる教育活動を充実させることで生徒の専門性、自尊心を高め、主体的に進路決定ができる力を育成する。</p>				<p>教科横断的な視点で授業改善に取り組み、主体的、対話的で深い学びに繋がる学習環境の構築を図る。</p> <p>3年間を見据えたキャリア教育計画の充実を図り、生徒の多様な進路実現に向け、組織的な指導を行う。</p> <p>地域との連携や学校開放活動を通して、本校の魅力を発信し、地域社会の活性化と意欲ある入学志願者の獲得を図る。</p> <p>資格取得や農業・家庭クラブにおける教育活動を活性化させるとともに専攻科との連携を図り農業教育の充実を図る。(生徒の自尊心とチャレンジ精神を育てる)</p> <p>社会の変化に対応し、地域に必要とされる学校づくりを推進する。</p> <p>人権教育、道徳教育の充実を図り、いじめや差別を許さない人権感覚と豊かな人間性を持った生徒を育成する。</p>		<p>全ての教科・科目でICTを積極的に取り入れ、授業改善に取り組むとともに教科間の連携を図り、主体的に学ぶ意欲を喚起する。研究授業をはじめ、OJTを通して指導力の向上を図る。</p> <p>3年間のキャリア教育計画を全職員で共有する。生徒個々のキャリアパスポートを基に、多様な進路希望に対応した指導を組織的かつ体系的に行う。</p> <p>ホームページとInstagramによる情報発信を定期的に行うことで、中学生、保護者、地域の理解を深める。映像配信や情報誌等による学校PRを随時行うとともに年間3回の中学校訪問を行う。体験入学の内容の見直しを行う。</p> <p>農業に関する3つの学科と本校専攻科との連携を推進し、プロジェクト学習等の充実を図る。生活デザイン科(家庭科)における学習活動の成果を積極的に発信する。</p> <p>各学科の特性を活かした産学官連携を維持・推進する。学科間の情報共有や連携機能を高めるための組織を設置する。</p> <p>いじめの早期発見、未然防止や生徒の人権感覚の向上を図るため、人権教育並びに道徳教育の充実を図る。また、特別支援教育や人権教育について、外部講師の招聘も含めた職員研修を実施し、指導力向上を図る。支援が必要な生徒の情報共有し、定期的なケース会議を通して組織的対応を行う。</p>						A : 適切である	B : 概ね適切である										
										C : やや不適切である	D : 不適切である												
												具体的目標				具体的方策				評価(3月)		次年度の主な課題	
										学 年	1 学 年	将来を見通し、進路実現に向けた目標設定ができる生徒を育成する。	総合的な探究の時間を活かし、自分自身を見つめ、将来への展望を持つよう促す。基本的な生活習慣を身につけ、将来について自ら考え、見通しをもって行動する態度を育成する。										
生徒全員が安全・安心で個性を生かしながら、周囲に気配りができる生徒を育成する。	教育活動全般を通して、互いの価値観を認め合う態度を育む。学年行事等を通して、規範意識を高め、他者と協働する態度を身につける。																						
中堅学年としての役割を自覚し、行動できる生徒を育成する	学年間の橋渡し、サポート等の役割を自覚し、日常的に意識して行動するように働きかける。生徒各々の個性を發揮できる場所を自ら見つけ、輝ける場面を作れるような取り組みを行う。																						
2 学 年	集団の一員としての自己の在り方を見つめ、大切に する態度を育成する	学校行事を通して、自己と他者の在り方を見つめ、共生するための方法を身につけさせる。学校や学年、科への帰属意識を高め、集団で一つの目標に向かって努力する意識を持たせる。																					
	希望進路を100%実現する。	面談を3回以上実施し、進路指導部、各学科、保護者との連携を図る。日常の挨拶や時間厳守、言葉遣いなど、社会に通用する人材の育成を目指す。																					
	リーダーシップを發揮できる人材を育てる。	体育祭や文化祭などの学校行事におけるリーダーシップとそれを支える力を育成する。最上級生として、より良い学校づくりを目指すため、生徒主体の学年集会などの機会を与える。																					
学 科	都市園芸科	地域との連携を図り、都市園芸科の価値を高める活動を実施する	近隣の幼稚園や小学校との交流を通して、生徒の主体性を伸ばす。農販会だけではなく、行事への積極的な参加から、地域に必要とされる学校を目指す。																				
		プロジェクト学習の充実	プロファームを活用したプロジェクトを設定する。生徒の主体的な活躍の場を設定し、学習に対して明確な目標を設定する力を養う。																				
	環境活用科	学科としての学習内容の充実と進路実現に向けた指導を行う。	専門性を活かした大学等の進学者に対しての指導を行う。中学生に対して、生徒募集に繋げるような取組を行う。																				
		学習意欲向上を図る教科指導をはじめ資格取得を充実する。	専門的な学習を行い、地域との交流を含め発表などのチャレンジができるように指導していく。生徒自らが積極的に資格取得ができるように指導を行っていく。																				
食品科学科	ICT機器を活用した地域社会との連携、ニーズに対応できる人材の育成	学科の特色を生かし、生徒が主体的に交流事業を運営することにより、職業意識の向上およびキャリアアップを目指す。ICT機器を活用し地域及び異校種間との交流事業を行い、コミュニケーション能力及び主体性を高める。																					
	キャリア教育及び資格取得の推進、特色ある取組の外部発信	生徒主体の学科集会を行い自主性を醸成するとともに、外部講師による指導や関係する資格取得の体制を整え、キャリア教育の推進を図る。特色ある専門教育の授業等をホームページやSNS等を積極的に活用し、常日頃の取り組みを発信する。																					
生活デザイン科	専門学科としての学習内容の充実と家庭に関する学科の特色ある取組の外部への積極的発信。	外部講師や校外研修、資格取得を通して、専門的知識と技術の習得を目指すとともに、職業意識を向上させる。専門性を活かしたキャリア教育の推進を図る。ICT機器を活用した主体的・対話的な学びの充実とホームページやSNS等を利用して授業内容を週1回のペースで発信する。																					
	地域や学科間連携を推進を行い、産業教育に貢献できる職業人の育成と進路実現。	他学科との連携や家庭クラブ活動を通して、地域や異年齢集団との交流を行い、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、学習意欲と学習への充実感を高める。体験入学やユウカリ祭、学習成果の発表会など生徒が主体的に運営する機会を設け、表現力や課題解決能力を高める。																					
自己評価及び学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策												評価項目以外のものに関する意見											